



## 最新の診断・治療機器で アップトウデイト(現代的)な 医療を提供

### 前田眼科クリニック



院長：前田 有先生



今回ご紹介するのは、「前田眼科クリニック」の前田有先生です。  
金沢大学医学部を卒業後、同大学病院眼科に入局し、南砺市民病院等複数の病院での勤務を経て、平成二十二年五月に白山市の松任千代野団地近くに開院いたしました。

開院された通りには、内科や小児科、皮膚科のクリニックが並び、近隣の先生方と共に、地域住民の健康を支えています。

前田眼科クリニックでは、最新の診断・治療機器を導入することで、網膜の断層像から診断するOCT検査や緑内障の後発白内障治療に、SLT・YAGレーザー等を行っており、アップトウデイト(現代的)な医療の提供を可能にしています。

さらに手術設備のある眼科として、従来の3ミリ前後の切開で行う小切開白内障手術よりも小さい、2ミリ切開創で行う極小切開白内障手術を中心に、日帰り手術を行っています。

極小切開白内障手術だけでも1000件以上の執刀経験がある先生。「手術をした患者さんから、見えやすく変わったと言ってもらえることが一番うれしい。」先生にとって、日々の診療の励みとなっております。

また先生は、地域住民に向けて、眼科疾患についての講演なども行っています。

「患者さんにも病気のことを理解していただいて、治療に協力してもらいたいと考えています。どんなにいい目薬でも、本人がつけなければ治らない。また自覚症状がなくなると、病気が治ったと思いき、必要な治療を中断される方もいます。なお緑内障は、失明のイメージが強く、診断結果を聞いて、大変ショックを受ける患者さんもいます。放っておくと失明することもある病気ですが、通院して目薬を継続していれば、生きている間に失明することはかなり少ないです。手術をしなくてはいけない重度の患者さんは、当ク

リニックでも年に2、3人です。正しい知識を広めていくためにも、病気について理解してもらう重要性を感じています。」そのため先生は、診療時にパソコンで画像を見せながら、患者さんにより丁寧に分かりやすい説明を心がけています。

めまいや目が見えにくいなどの症状で受診した患者さんが、眼科では特に異常がなく、頭の疾患が疑われる時は、当院を紹介しているそうです。当院との連携も、診療所のかかりつけ医との連携関係というより、まさに互いの専門性を活かした連携関係となっています。

今後さらに進む高齢化の時代において、今以上に眼科医のニーズは高まりま

#### DATA

### 前田眼科クリニック

**住所**  
石川県白山市北安田町 5079

**TEL**  
076-227-8000

**診療時間**  
9～12時(月～土曜日)  
15～18時(月水金曜日)



す。眼科医が不足しているこの白山市に、開院した理由について尋ねると、「患者さんに必要とされていることが大事」と話す先生。

その思いをもつ先生だからこそ、この地域にとって、必要不可欠な存在なのだと感じました。

#### TOPIC

### 地域連携交流会開催 「互いを知り、地域でみる」

#### 地域医療連携室

12月7日にホテル金沢にて、当院主催の金沢地区地域連携交流会を開催しました。生活期施設の職員と顔と顔を合わせ、互いを知ることにより良い連携体制を築くことが目的です。交流会では、「脳卒中リハビリテーション」看護認定看護師の役割」と題し、当院の認定看護師である櫻井看護主任と坂上臨床指導者による講演会が行われました。

また講演会後の名刺交換会では、各施設の現状や空床状況等の有用な情報とともに、生活期でどのような方々が、どのような想いで患者さんに関わっているかを知ることができました。地域で患者さんを見ることの重要性を知り、とても有意義で貴重な時間となりました。



## 患者さんコーナー



あわら市 森澄江 様

若葉香る新緑の候、私は現在75才ですが、金沢脳神経外科病院 佐藤院長先生方のお陰で毎日幸せをかみしめ、感謝をこめて有意義に残りの人生を歩んでおります。23年秋頃より足の裏側に時々強度の痛みを感じ、歩行困難になる事もあって、いきつきの先生の御紹介により23年1月17

日MD法による手術を受けさせて戴きました。手術当日の夜目覚めて全く痛みがすっかりなくなっているのには驚きました。院長先生は痛みがすっかり取れた事をまるで本人の様に解っておられました。あれからもう1年半、お陰様で家事、畑、スポーツに楽しく過ごしております。私のように痛みをがまんされて居られる方々の為につたないペンを取りました。佐藤院長様はじめ皆様有り難うございました。

## TOPIC

### しんきんビジネスフェア 『北陸ビジネス街道2012』に参加しました。

10月26日に石川県産業展示館3・4号館で「しんきんビジネスフェア北陸ビジネス街道2012」が行われました。このイベントは北陸三県17信用金庫が、地域の活性化と地元企業の事業発展を目的として開催され、今年で7回目を迎えました。今年のテーマは「北陸発『つなぐ力』で日本を元気に！」で、北陸三県及び隣接する地区から約460社が出展しました。当院のブースには228名の方が足を運んでくださり、血圧や骨密度・血管年齢測定、ストレスチェックを行いました。特に骨密度にはお客さんが途切れることなくお越しいたごき、血管年齢測定やストレスチェックに関しては、行列ができるほど大好評でした。測定後には、結果について看護師に質問する姿も見られ、ご自身の健康管理に気をつけている方が多いと感じました。今後、地域の中核を担う専門病院として、より多くの方々に脳卒中の予防や早期発見早期治療を伝えるため、啓蒙活動に力を入れていきたいと思っております。



## TOPIC

### 平成24年度 第2回救急症例検討会

10月30日に平成24年度第2回救急症例検討会を、近隣の救急隊員の方々26名と当院職員34名の参加で開催しました。今回の症例は脳梗塞が1例、脳内出血が2例でした。検討会終了後、山本副院長が講師として「頭痛」をテーマとした小勉強会が行われました。



## TOPIC

### 浅ノ川グループソフトボール大会で優勝！

10月14日に健民海浜公園グラウンドにて「第19回浅ノ川グループ関連施設ソフトボール小運動会」が行われました。浅ノ川グループと、関連団体15施設が集合し、爽やかな秋晴れのなか熱戦を繰り広げました。当院からは、応援を含め38名が参加しました。ソフトボール、玉入れ、2人3脚すべての競技において成績優秀だった当院が、総合優勝を勝ち取ることができました。職員間のコミュニケーションを図る目的でしたが、あらためて多職種の垣根を越えたチームワークの重要性を知るよりよい機会になりました。



## 院外講演活動等

(平成24年10月～12月)

- 10/6 耳寄りな講演会(地場産業振興センター)  
「脳卒中と生活習慣病」山本副院長
- 耳寄りな講演会(米丸公民館)  
「腰痛について」佐藤病院長
- 10/17 耳寄りな講演会(押野公民館)  
「笑顔で長生き!!」東川副技士長
- 10/19 耳寄りな講演会(粟津駅前公民館)  
「脳卒中と生活習慣病」山本副院長
- 10/20 白山ののいち医師会主催公開講演会  
(グランドホテル松任)  
「腰痛とのつき合い方、治し方」  
佐藤病院長
- 11/20 耳寄りな講演会(サンライフ松任)  
「お薬の正しい飲み方、使い方、選び方」  
熊橋薬局長
- 12/9 耳寄りな講演会(金沢健康プラザ)  
「実践!安全入浴法&温泉活用法」  
山口副院長
- 12/12 耳寄りな講演会(当院多目的ホール)  
「お薬の正しい飲み方について」  
熊橋薬局長

## ふれあい健康講座 「脳卒中の衣・食・住」

患者満足向上委員会

いろいろな人達と脳卒中の予防を目的としたふれあいをしたい！まずは病院周辺地域の皆様に向けて発信しよう！ということで、11月11日に当院で『ふれあい健康講座「脳卒中の衣・食・住」』を開催しました。昨年までは近隣の大型スーパーで場所を提供していただき『ふれあい健康相談』を開催していましたが、今年は、脳卒中に対するより深い知識を得てもらう事を目的に『脳卒中の講座』を開催しようという企画を立て、院内で開催することにしました。

開催を決定したものの、どのような内容で、いかに分かりやすく脳卒中の予防や基礎知識を伝えるにはどうすればよいのだろうか？不安を抱きながら、各部署の方々の力を借り、コッソツとバタバタと、たまに途方にくれながら少しでも多くの方たちに脳卒中予防を伝えられるように準備をしました。

そして当日。

皆で不安に駆られながらも玄関で来場者を待ちました。正直、何人来られるのか全く見当が付きませんでした。9時過ぎから切れ間無く10時までには1000人を超す方々で講演会場はあふれかえりました。櫻井坂上両認定看護師の優しい口調の講演、飯田部長のシンプルで分かりやすい講演、土山リハビリテーションセンター技士の現実的なリハビリの講演など時間はあっという間に過ぎて行きました。皆さん、熱心に講演に耳を傾けておられ、興味深く聞いていた



だけたように感じました。その後のポスター講演もほとんどの方々が立ち寄り『薬』『食事』『治療費』『入院費』『地域連携』『退院後について』『リハビリ』について当院の専門スタッフに質問したり説明を受けたりし、私たちも直接生の声を聞くことが出来ました。また『介護のポイント』の実演でも多くの方が興味を示して見て下さいました。なかには、介護に対する不安や自分の介護のやり方があっているかどうかスタッフに質問している方もいらつしやいました。わずか2時間程度の催し物でしたが、初めての開催にしては、全体を通して脳卒中予防についての情報は提供することができたように思いました。

これからも地域の皆様に『脳卒中は嫌だな…そうだ！金沢脳神経外科病院に行こう!!』と思っただけに思えるように、このような活動を続けていきたいと思えます。

### TOPIC

## 平成24年度 秋季防犯訓練

10月29日に防犯訓練第二弾として患者搬送訓練を実施しました。テーマは「色々な搬送方法について」として、白山野々市広域事務組合のご協力を得て当院の研修室、廊下、階段を使って行いました。

11月9日(119の日)には第二弾、当院職員と野々市消防署による防災訓練を行いました。深夜、病棟で火災が発生したと想定して、火災発見から初期消火、消防署への通報、避難誘導の一連の訓練を行い、万一の危機に備えま

した。訓練終了後、野々市消防署副署長より講評を頂きました。最後に災害



対策委員会委員長(山本副院長)より挨拶があり、訓練を終了しました。12月19日には第三弾として非常災害発生時連絡訓練を行いました。夜間の災害発生時に、全職員に災害が発生したことを電話で伝える訓練です。災害は起こらない事が一番ですが、いざという時に動けるように、日頃から心がけたいと思います。

## クラブ活動紹介

### 4 KNHウォーキングクラブ

KNHウォーキングクラブは、平成24年4月に発足したまだ新しいクラブです。「健康の為にまず歩くことから」をキャッチフレーズに健康維持・増進日頃のストレス解消などを目的に、現在17名の会員登録があります。主な活動内容は、県や市町村で開催されているウォーキング活動に参加して平均20kmを約4時間前後で歩いています。今年度は5回の活動を実施し、そのうちの1回はバスで乗鞍・上高地ウォーキングに参加しました。四季や風を感じながら、人

とのふれあいがあったり、ウォーキング後に地元のみそ汁などのサービスがあったりと毎回違う発見があるのも魅力の一つです。

また、今年度は「KNHウォーキングTシャツ」を作成しました。春からTシャツを着てウォーキングしている人を見かけたら気軽に声をかけてください。一緒にウォーキングしましょう。

